

「しめ縄作り」による三世代ふれあい活動

毎日新聞鷺沼専売所 所長 川村益美

伝承文化の継承による 世代間交流の場を提供 地域交流に寄与した取り組み

●実施期間

1985年4月～毎年11、12月の土曜、日曜日

●実施地域

岐阜県各務原市内

●活動概要

岐阜県各務原市の毎日新聞鷺沼専売所所長の川村益美さんは、1985年4月から毎年11、12月の土曜、日曜日に「三世代ふれあにしめ縄作り」を実施している。

市内の各自治会や各地区子ども会、ボーイスカウトなどからしめ縄作りの指導依頼を受けて始めた活動で、しめ縄づくりだけでなく、川村所長が所有する休耕田を使い、6月に田植え、8月下旬に稲わらの青田刈り体験も行っている。

核家族化で高齢者とふれあう機会が少ない子どもたちには良い経験となり、地域交流に大きく寄与している活動である。

*

川村益美(かわむら・ますみ)

■しめ縄作りの指導依頼と感謝状

平成10年12月16日

川村 益美 様

各務原市少年自然の家
所長 伊藤 一 様

貴館の御指導に因りまして

毎年の秋、自然におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、各務原市少年自然の家の事業にご支援、ご協力を賜り、深く感謝いたしております。さて、当少年自然の家は12月ファミリー宿泊デー「もうすぐお正月」におけるしめ縄作りを下記のように実施することになりました。つきましては、川村益美様にご指導をお願いいたしたいと存じます。ご多忙のところと存じますが、よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 日 時 平成10年12月20日(土) 14時00分～17時00分

2. 場 所 各務原市少年自然の家
各務原市鷺沼小伊木町4-213 <0583>70-5280

3. 対 象 子どもとその家族(24家庭：80人)

4. 日 程 13:30 参加者受け
13:45 開会式(所長挨拶・講師紹介など)
14:00 しめ縄作り
17:00

平成12年1月5日

川村 益美 様

各務原市少年自然の家
所長 浅野 隆 様

おすれ

初学の儀、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、各務原市少年自然の家の運営にあたりまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、先日自然の家で行われました「ファミリー宿泊デー 一家族で挑戦! しめ縄づくり」には、ご多忙のところ講師として熱心に指導をしていただき、誠にありがとうございます。おかげさまで素晴らしい成果をあげて無事終了することができました。参加者の方は、手作りのしめ縄を玄関先に飾り、いつもは違った素晴らしいお正月を迎えたことと思います。これもひとえに先生のご指導の賜と厚くお礼申し上げます。今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。

※写真をお見せいたしましたので、お受け取りください。



岐阜県知事からの感謝状



各務原市長からの感謝状



写真左：しめ縄作り：古きよき技、伝えて新年3世代で正月準備—各務原/岐阜

写真右：しめ縄作り：各務原の同好会、迎春を準備/岐阜



しめ飾り 材料出来た 各務原の子ども会

稲の青刈り作業に挑戦

住民が手ほどき 田植えから体験

同好会は同地住民が中心で、田植えも刈り取りも体験した。稲刈りには、三世代ふれあいで、田植えから刈り取りまで、体験した。稲刈りには、三世代ふれあいで、田植えから刈り取りまで、体験した。稲刈りには、三世代ふれあいで、田植えから刈り取りまで、体験した。

岐阜新聞 2002年9月1日付

しめ飾り作りを楽しむ親子—各務原市鷺沼南町、南町公民館

街は早くも師走モード

迎春用のしめ飾り 三世代が仲良く作る

各務原市鷺沼南町で20人

各務原市鷺沼南町の南町公民館で、7名の子供、町公民館で、三世代ふれあいで、迎春用のしめ飾り作りが行われました。子供たちと親戚が、しめ飾り作りを楽しんでいました。子供たちと親戚が、しめ飾り作りを楽しんでいました。

岐阜新聞 2004年11月24日付

しめ飾りに挑戦 各務原

年末年始に彩りを 手づくり会 各地で開催

しめ飾りづくりに挑戦する親子—各務原市の南町公民館で23日

しめ飾りづくりに挑戦する親子—各務原市の南町公民館で23日

しめ飾りづくりに挑戦する親子—各務原市の南町公民館で23日

毎日新聞 2004年11月24日付

しめ飾り用に青刈り作業 各務原市 自治会と子ども会が協力

しめ飾り用の稲わらを青刈りする子どもたち—各務原市鷺沼南町

しめ飾り用の稲わらを青刈りする子どもたち—各務原市鷺沼南町

岐阜新聞 2004年8月25日付

小学生ら青刈り体験 各務原

正月のしめ飾り用に

「田植えより面白い」

各務原市鷺沼南町の南町公民館で、小学生らによる青刈り体験が行われました。小学生らによる青刈り体験が行われました。

中日新聞 2004年8月25日付

毎日新聞 2004年8月25日付

子どもの安全を守り、子どもの情操を養う

北國新聞北国会

子どもたちの安全、安心を願い 交通安全横断旗・防犯ベストを寄贈

●実施期間

2006年8月～

●実施地域

石川県内全域

●活動概要

北國新聞北国会では、2006年8月から子どもたちの安全、安心の実現と情操を養うことを目的に県教育委員会を通じて、県内10市9町の全公立小学校231校に交通安全横断旗と、登下校時に子どもたちを見守る「ボランティア隊」が着用する防犯ベストを寄贈している。交通安全横断旗は06年度に1,500本、防犯ベストは07年から3年間で1,100着を寄贈している。

また、県内361の保育園・保育所には、10年度から3年間、ふるさとと偉人を絵本にした「ふるさと偉人絵本館(全6巻)」なども寄贈している。

寄贈先の市長、町長から感謝状が贈られている。

*

北國新聞北国会=石川県の北國新聞系統の233販売所で組織。田中六郎(たなか・ろくろう)会長

◎交通安全横断旗の寄贈



2006年8月、石川県教育委員会を通じて県内10市9町の全公立小学校231校に、交通安全横断旗1,500本を寄贈した。



寄贈後、6年が経過している。毎日の登下校時にボランティアの方が使われるため、強風で旗が破れたり、追加で購入を希望する学校も出て来ている。交換作業も含め、今後も継続性をもって取り組んでいる。

◎防犯ベストの寄贈



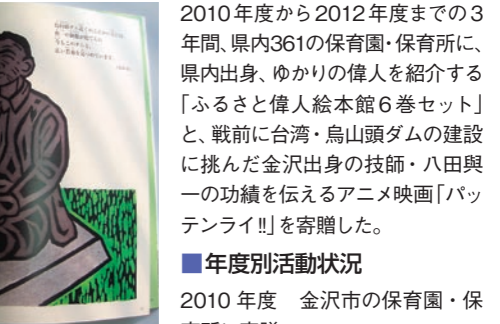
2007年度から2009年度までの3年間、県内10市9町に、登下校時の子どもたちを見守る、ボランティア用の防犯ベストを寄贈した。

■年度別活動状況

2007年度 金沢市に寄贈
2008年度 輪島市、七尾市など4市6町に寄贈
2009年度 小松市、白山市、津幡町など5市3町に寄贈



◎ふるさとと偉人絵本館(全6巻)、アニメ映画「パッテンライ!!」DVDの寄贈



2010年度から2012年度までの3年間、県内361の保育園・保育所に、県内出身、ゆかりの偉人を紹介する「ふるさと偉人絵本館6巻セット」と、戦前に台湾・烏山頭ダム建設に挑んだ金沢出身の技師・八田與一の功績を伝えるアニメ映画「パッテンライ!!」を寄贈した。

■年度別活動状況

2010年度 金沢市の保育園・保育所に寄贈
2011年度 内灘町以北の保育園・保育所に寄贈
2012年度 野々市市以南の保育園・保育所に寄贈

◎北國新聞に掲載された活動内容



北國新聞北国会は、県内の公立全三十三小学校に交通安全横断旗計千五百本を贈る。二十八日に田中六郎会長が県教委を訪れ、中西吉明教育長に目録を手渡した。

北國新聞北国会は、県内の公立全三十三小学校に交通安全横断旗計千五百本を贈る。二十八日に田中六郎会長が県教委を訪れ、中西吉明教育長に目録を手渡した。

北國新聞北国会は、県内の公立全三十三小学校に交通安全横断旗計千五百本を贈る。二十八日に田中六郎会長が県教委を訪れ、中西吉明教育長に目録を手渡した。

子ども見守りベスト贈る
北國新聞北国会は、小松市に10着の子ども見守りベストを贈る。北國新聞は北國新聞創刊100周年を記念して、2003年から、会員の寄付を基に社会貢献事業を展開。これまで社会福祉施設に車椅子110台、県内の全公立小学校に交通安全旗を贈った。ベストの寄贈は07年から始め、今年は小松市のほかに、吉田教育長(左)と副会長(右)が手渡す。田中会長は「小松市役所に『わがまち防犯隊』が

北國新聞北国会は、小松市に10着の子ども見守りベストを贈る。北國新聞は北國新聞創刊100周年を記念して、2003年から、会員の寄付を基に社会貢献事業を展開。これまで社会福祉施設に車椅子110台、県内の全公立小学校に交通安全旗を贈った。ベストの寄贈は07年から始め、今年は小松市のほかに、吉田教育長(左)と副会長(右)が手渡す。田中会長は「小松市役所に『わがまち防犯隊』が

北國新聞北国会は、小松市に10着の子ども見守りベストを贈る。北國新聞は北國新聞創刊100周年を記念して、2003年から、会員の寄付を基に社会貢献事業を展開。これまで社会福祉施設に車椅子110台、県内の全公立小学校に交通安全旗を贈った。ベストの寄贈は07年から始め、今年は小松市のほかに、吉田教育長(左)と副会長(右)が手渡す。田中会長は「小松市役所に『わがまち防犯隊』が

北國新聞北国会は、小松市に10着の子ども見守りベストを贈る。北國新聞は北國新聞創刊100周年を記念して、2003年から、会員の寄付を基に社会貢献事業を展開。これまで社会福祉施設に車椅子110台、県内の全公立小学校に交通安全旗を贈った。ベストの寄贈は07年から始め、今年は小松市のほかに、吉田教育長(左)と副会長(右)が手渡す。田中会長は「小松市役所に『わがまち防犯隊』が



北國新聞北国会は、能登地区に17施設へ「ふるさとと偉人絵本館」6巻セットとアニメ映画「パッテンライ!!」DVDを寄贈した。北國新聞は、能登地区の保育園・保育所に、ふるさとと偉人絵本館6巻セットとアニメ映画「パッテンライ!!」DVDを寄贈した。北國新聞は、能登地区の保育園・保育所に、ふるさとと偉人絵本館6巻セットとアニメ映画「パッテンライ!!」DVDを寄贈した。

北國新聞北国会は、能登地区に17施設へ「ふるさとと偉人絵本館」6巻セットとアニメ映画「パッテンライ!!」DVDを寄贈した。北國新聞は、能登地区の保育園・保育所に、ふるさとと偉人絵本館6巻セットとアニメ映画「パッテンライ!!」DVDを寄贈した。

北國新聞北国会は、能登地区に17施設へ「ふるさとと偉人絵本館」6巻セットとアニメ映画「パッテンライ!!」DVDを寄贈した。北國新聞は、能登地区の保育園・保育所に、ふるさとと偉人絵本館6巻セットとアニメ映画「パッテンライ!!」DVDを寄贈した。

写真情報誌「カメラ・アイライン」の発行

神戸新聞北条販売所 所長 三枝正男

市民の目線を大切にした 地域情報満載のミニコミ誌を発行

●実施期間

1988年2月～

●実施地域

兵庫県加西市全域

●活動概要

かさいし
兵庫県加西市の神戸新聞北条販売所所長の三枝正男さんは、1988年2月から写真情報誌「カメラ・アイライン」を月2回発行し、同販売所が扱う新聞に折り込んで配布している。

市民と同じ目線で絆を結びという意味から名付けた地域ミニコミ誌は、09年11月24日には500号を数え、9,000部を発行している。

市民の情報源として地域のサークル活動の紹介やその作品の発表の場を提供しており、地域に根差した活動である。

*

三枝正男(さえぐさ・まさお)

◎写真情報誌「カメラ・アイライン」



〈表面〉



2012年4月24日付 (No.558)

〈裏面〉



〈裏面〉

■手作りの良さが感じられるバックナンバー



1991年5月14日付 (No.54)



1992年4月28日付 (No.78)



1993年4月27日付 (No.102)

■No.500記念号



2009年11月24日付 (No.500)

伊賀地区朝日新聞サービスアンカー、伊賀支局紙面連動企画「なくそう交通事故」

伊賀地区朝日新聞サービスアンカー

販売所従業員が事故の危険箇所を自ら取材し紙面を通して地域読者に啓もうする取り組み

●実施期間

2009年11月～

●実施地域

三重県伊賀市、名張市の朝日新聞名張版発行エリア

●活動概要

伊賀地区朝日新聞サービスアンカーでは、2009年11月から地域への交通安全の啓発を目的に、朝日新聞伊賀版紙面上で伊賀支局との紙面連動企画「なくそう交通事故」を原則月1回連載している。

紙面は、地域の交通事情に詳しい販売所長や従業員が事故の危険性がある場所を取材し、記事化して紙面掲載するもので、今年6月現在で21か所を掲載している。

今年3月には、企画開始以来紹介した記事の縮刷版に、危険箇所を地図上に記したハザードマップを添付した冊子を作製し、読者に配布した。また、掲載した3か所の危険箇所が、行政による改善措置が取られるなどの効果をもたらしている。

*

伊賀地区朝日新聞サービスアンカー＝三重県伊賀地区のASA上野、ASA上野北、ASA名張、ASA桔梗が丘東部、ASA桔梗が丘西部の5販売所。伊集基之（いしゅう・もとゆき）代表。

◎朝日新聞伊賀版紙面連動企画



〈伊賀版〉2012年3月8日付朝刊



〈伊賀版〉2012年3月23日付朝刊



〈伊賀版〉2012年6月21日付朝刊



〈伊賀版〉2012年7月31日付朝刊



〈伊賀版〉2012年9月6日付朝刊



〈伊賀版〉2012年10月4日付朝刊



〈伊賀版〉2012年10月5日付朝刊／伊集代表の講演記事

◎連載企画をまとめた冊子「なくそう交通事故」



地域ボランティア・有線放送、ゴミ出し支援

山陽新聞神島外販売所 所長 山本 勝

急速に進む過疎化・高齢化に対応 地域に密着した奉仕活動

●実施期間

1991年～

●実施地域

岡山県笠岡市神島外浦地区

●活動概要

岡山県笠岡市の山陽新聞神島外販売所所長の山本勝さんは、1991年から有線放送で生活情報のアナウンス、2006年からは朝の新聞配達時に、高齢者宅のゴミ出しを支援している。

有線放送は、おくやみの連絡や災害情報、地域の催しの案内などを、月10回ほど放送している。ゴミ出し支援は、山あいに住む高齢者宅のゴミ出しを週2回新聞配達時に手伝っている。

急速に過疎化が進み、1人暮らしのお年寄りからは助かるとの声が届けられているほか、笠岡市長からは多年にわたる生涯学習活動の進展に尽力したことから感謝状が贈られている。

*

山本 勝(やまもと・まさる)

◎ゴミ出しを手伝う山本所長と、ゴミ出し支援地区



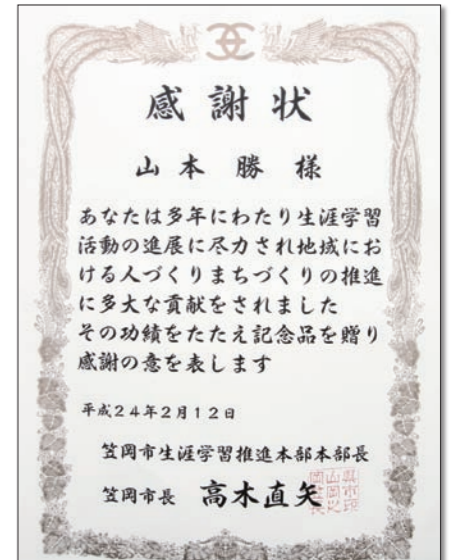
ゴミ出しを手伝う山本所長。気さくな人柄で、地域住民の信頼も厚い。玄関先に置いてあるゴミも回収する。



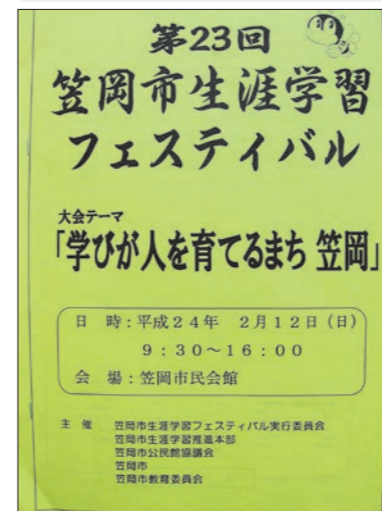
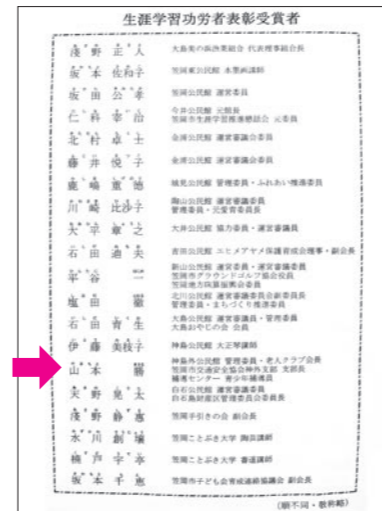
ゴミ出し支援を行う、みづおちちく。急峻な地形は、歩いてゴミを出す高齢者に困難がつかまとう。



山陽新聞 2010年10月17日付



平成24年2月、長年の活動に対して笠岡市から表彰された。



■有線放送の原稿

